

## 令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅱ） 対象：（第3学年A組～F組）

科目担当者：A～F組：（熊坂 ㊟・中山 ㊟・高橋 ㊟）

教科・科目の指導目標	高校英語の基礎を、精読や音読を通して学び、基礎学力を向上させる。
------------	----------------------------------

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	年間を通して英単語テストを行い、生徒の基礎的な単語力は定着しているが、英文を読むことへの抵抗感は依然として高い。特に学んだ項目の基本的な問題はできるが、応用問題や、読解においては、その学習が結びついていないのが現状である。2クラス3展開の授業を行なっているが、Advancedは準2級から3級レベル、Standardは英検3級程度、Basicは英検4級、5級程度が現状である。	基本単語を小テスト等を通して身に付けさせる。読解に関しては、苦手とする生徒が多く、優しい英文を、一文一文を正しく理解できるように指導をしていかなければならない。英文法については、中学レベルの文法知識を定着させ、高校の基礎的な文法を繰り返し指導する必要がある。音読をすることにより、読む力、聞く力を身に付けさせるだけでなく、総合的な英語力までも身に付けさせる。	昨年度に引き続き2クラス3展開の少人数・習熟度別のクラス編成で授業を行う。基本的な単語の小テストを行う。また、より多くの英語の文章を読むことで論理的思考力、文法を生かす能力を身に付ける。ALTやJETの活用により、聞く力・話す力も加えた4技能をバランスよく伸ばせるようにする。また、スピーキングの活動も取り入れ、生徒が発話する時間を作る。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			